

女性消防団員 & 町議会

元年度から瑞穂町消防団の新たな仲間として、女性消防団員（現在10名）が加わりました。女性消防団員は、応急手当や防災の知識を多くの住民の皆さまに広める活動をしています。町を守るため、女性の「チカラ」が消防団でも輝いています。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今回の対談は10名のうち4名の方にご協力いただきました。書面でのやり取りになりましたが、実際に対談しているようにアレンジしています。



元年の総合防災訓練で包帯法指導を行う様子（武蔵野コミュニティランド）

被災者のために役立つことをしたい

Q 消防団員になったきっかけは？

— 女性消防団員の募集時に担当部長に声をかけられました。

— 私も部長に勧められて。

— 元年10月の豪雨の際のニュースで、消防士やレスキューの方が頑張っているのを見て、自分も災害が発生したら被災者のために役立つことをしたいと思いました。ちょうどその時、瑞穂町で女性消防団員募集のお知らせを見て即決しました。

Q どのような活動をしていますか？

— 広報活動がメインです。

— 広報車に乗って火災予防運動の広報もしています。

— 春や秋の火災予防広報をはじめ、自然災害の発生が予想されるときなどに警戒活動もしました。

— 出初式やポンプ操法審査会での司会は緊張しました。

— 上級救命講習を受講しました。

Q 消防団員になる前となった後で変わったことはありますか？

— 入団する前から消防団行事に参加していたので…。正直、衝撃的な変化はありませんでした。

— 私は防災意識が高まりました。

— 町がもっと好きになりました。

— 知り合いが確実に増えました。

Q 何かエピソードはありますか？

— 仕事中に嘔吐した人の対応が迅速にできました。

— こちらは存じ上げないのに、女性消防団員や私のことを知っている消防士さんが何人もいました。

Q 瑞穂町のお気に入りの場所は？

— 狭山池や耕心館はいいですね。

— 真冬の晴れた空気が澄んだ朝一に、きれいな富士山が見えるスカイホール2階の玄関。

— 六道山の散策コースとその先の里山民家が好きです。

Q 今後の抱負を教えてください。

— 他の区市町村の女性消防団員は、応急手当普及員の資格を取得している方が多いので、私たちも取得して、活躍の場を増やしたい。

— 広報だけでなく、災害現場でも活動できるようにになりたい。

— 例年だと年間たくさん活動や行事を行っています。新型コロナウイルスが収束したら、ぜひ、多くの方々にご参加、ご観覧してほしいです。

— 女性ならではの心遣いが発揮できるようにしたい。

Q PRやメッセージをお願いします。

— 女性消防団員が発足して2年。まだ、知らない方も多いと思うので、広報活動を頑張らせていきたい。

— 地域の方や関係機関と今まで以上に連携して、町の安全安心に寄与していきたいです。

— 町にはこんなに多くの人が町の安全を守るために活動しているんだと誇りを持ってました。自分もその一員として活動できるように頑張ります。

Q 議会や「ギカイのひろば」についてアドバイスをお願いします。

— 若者にも興味を持ってもらえるようになると思います。

— マンガやYouTubeの活用など、面白さがあるといいと思います。

— 女性消防団員を取り上げていただき、ありがとうございます。

参加してくださった女性消防団員の皆さん、ご協力ありがとうございました。



・出初式やポンプ操法審査会での司会で緊張した吉崎絵美さん。



・仕事中、嘔吐した人に迅速に対応した平山愛さん。



・被災者のために役立つことをしたいと入団を即決した古川裕美さん。



・応急手当普及員の資格を取得したいと思っている宮崎ゆり恵さん。